
エコアクション21

環境経営レポート

運用期間 第53期 2021年10月1日 ～ 2022年9月30日

発行年月日 2022年12月5日

株式会社 吾水総合コンサルタント



目次

〈PLAN〉

- | | | |
|----|----------------|-------|
| 1. | 組織の概要 | 1 ページ |
| 2. | 環境経営方針 | 3 ページ |
| 3. | 当年度及び中長期環境経営目標 | 4 ページ |
| 4. | 環境経営計画 | 5 ページ |

〈DO〉

- | | | |
|----|----------------|--------|
| 5. | 実施体制表と役割分担表 | 6 ページ |
| 6. | 環境活動状況 | |
| | 6-1. 社内の環境活動状況 | 7 ページ |
| | 6-2. 地域の環境活動状況 | 12 ページ |

〈CHECK〉

- | | | |
|-----|----------------------|--------|
| 7. | 環境関連法規などの遵守状況 | 14 ページ |
| 8. | 環境活動の実績(環境経営目標の達成状況) | 15 ページ |
| 9. | 環境活動の取組結果・評価 | 16 ページ |
| 10. | 次年度の環境経営目標及び環境経営計画 | |
| | 10-1. 次年度及び中長期環境経営目標 | 20 ページ |
| | 10-2. 次年度の環境経営計画 | 21 ページ |

〈ACT〉

- | | | |
|-----|--------------------|--------|
| 11. | 代表者による全体の評価と見直し・指示 | 23 ページ |
|-----|--------------------|--------|

1. 組織の概要

事業所名	カブシキカイシャ ゴスイソウゴウ 株式会社 吾水総合コンサルタント		
代表者名	代表取締役社長 児島 克典		
所在地	・本社	〒806-0065	福岡県北九州市八幡西区養福寺町7-9 TEL：093-621-3366
	・福岡支店	〒812-0008	福岡県福岡市博多区東光2丁目8-17 TEL：092-433-9400
	・佐賀事務所	〒849-0937	佐賀県佐賀市鍋島2丁目18-10 TEL：0952-31-3641
	・熊本事務所	〒861-4113	熊本県熊本市南区八幡5丁目10-1 TEL：096-320-5880
	・下関事務所	〒759-6301	山口県下関市豊浦町大字川棚6879-1 TEL：083-242-2300
環境責任者および担当者連絡先			
	・環境責任者	山末	TEL 093-621-3366
	・担当者	浅野	FAX 093-621-5110
			Mail m-asano@gosui.co.jp
事業規模	・設立年月日	1970年9月22日	
	・資本金	2500万円	
	・従業員数	26名（男20、女6）	
	・事業年度	10月1日～翌年9月30日	
登録	・建設コンサルタント	第01-1513号（令和元年10月）	
	・補償コンサルタント	補02第2848号(令和2年11月)	
	・測量業者	第12-3847号(平成30年4月)	
	・一級建築士事務所	第1-20460号（平成29年4月）	
認証登録範囲			
	・登録対象事務所	本社、福岡支店、佐賀事務所、熊本事務所、下関事務所	
	・活動	全組織、全活動を対象とする	
事業内容	・土木設計業	道路・橋梁・河川・上下水道	
	・測量業	測量業務全般	
	・一級建築士事務所	建築設計全般	



株式会社 吾水総合コンサルタント

株式会社 吾水総合コンサルタントは、土木・建築・測量等総合建設コンサルタントとして、社会資本整備(公共事業における調査・計画・設計)を行っている会社です。

土木設計

- 道路構造物
- 橋梁点検, 補修設計
- 河川護岸
- 上水道
- 下水道

測量調査

- 地上測量全般及び各種台帳作成
- 家屋調査

建築設計

- 一般建築全般

入札

•委託を受けたら、担当者から設計仕様書を受領し、業務の内容を把握して業務計画書を作成します。

調査・設計

- 現地の状況・環境に見合った設計が必要とされます。
- 委託を受けたらまず現地へ赴きその土地の特性を十分に調査します。どの現場もそれぞれ条件が違うので全て基準書通りには行きません。
- 基準書に当てはまらない場合はより良い計画を提案します。

成果納品

•設計仕様書に記載されている業務を全て遂行したらその業務で行った全ての調査・設計内容をまとめ照査を行い、製本して委託者に納めます。

当社は、工事に必要な設計図書(設計図面・各種計算書等)を作成します。
最適の技術で客先の信頼と満足を得る品質を提供しています。

2. 環境経営方針

環境経営理念

社会・環境貢献活動に積極的に取り組み、環境に与える影響を低減し、

自然環境との共存を計れるよう活動します。

環境経営方針

重点事項について環境目標・計画を策定するとともにこれらを見直して

環境経営システムの継続的改善を図ります。

- 二酸化炭素排出量の削減に努める。
 - ・ 電力使用量の削減を行う
 - ・ 化石燃料(ガソリン)使用量の削減を行う
- 水使用量の削減に努める。
- 一般廃棄物の削減・再利用・再資源化に努める。
- 設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手し、技術向上に努める。
- 環境関連法規を遵守する。
- 地域の環境活動に積極的に参加する。
- 環境への取り組みを全社員に周知すると共に、広く公開する。

改定日：2018年 8月 1日
株式会社 吾水総合コンサルタント
代表取締役

児島克典

3. **当年度及び中長期環境経営目標**

事業年度：10月1日～翌年9月30日

代表者： 児島

作成者： 泉

〈削減目標〉 基準年度より-1%を目標とし削減に努める

環境目標	単位	基準年度	当年度	中 期		
		45 期 2013/10～ 2014/9	53期 2021/10～ 2022/9	54 期 2022/10～ 2023/9	55 期 2023/10～ 2024/9	56 期 2024/10～ 2025/9
削減目標			(△8%)	(△9%)	(△10%)	(△11%)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	46,311	42,606	42,143	41,680	41,217
電力使用量	kwh	27,437	25,242	24,968	24,693	24,419
ガソリン使用量	L	14,285	13,142	12,999	12,857	12,714
灯油購入量 (運用管理)	L	—	※1 —	—	—	—
水使用量	m3/人	8.1	※2 7.4	7.3	7.2	7.2
一般廃棄物排出量	kg/人	20.6	※2 18.9	18.7	18.5	18.3

〈プラス目標〉

設計における環境配慮	環境効果の高い資材や工法の情報収集のための研修・講習に積極的に参加する。
地域の環境活動	月に1回、社屋の周辺清掃を行う。

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の令和3年度 調整後排出係数0.480kg-CO2/kWhを用いた。

※ 業務において化学物質を使用することはない。

※1 灯油使用量に関しては、運用管理しているため、目標はたてないこととする。

※2 水使用量と一般廃棄物排出量について、人員の増減による実績値の振りが多いため一人あたりの使用量を削減目標とする。

4. 環境経営計画

環境経営計画

定期的な評価(上半期/全期間)

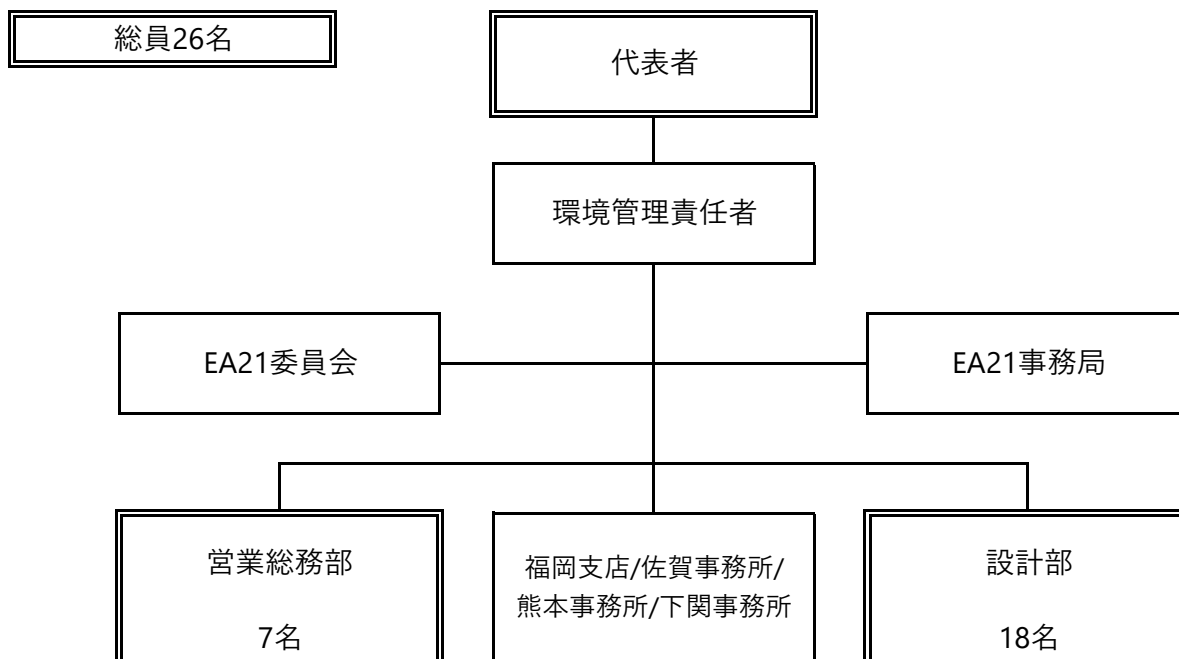
取組目標	活動内容	活動計画				担当
		10~12	1~3	4~6	7~9	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量		エアコン使用時 常時実行			鹿江
	エアコン設定温度					
	扇風機・サーキュレーターの活用による冷暖房の効率化					
	LED照明への随時取り替え			随時導入		
	不要な照明の消灯					
	不要電力消費抑制 (未使用時のプリンター、外出時のPC)			通年実行		
ガソリン使用量の削減	エコドライブの励行					岩熊
	・アイドリングストップ					
	・急発進、急停車の防止等			通年実行		
	・ルート・配車計画の合理化					
エコカーへの随時入れ替え	定期的な安全点検			随時導入		
				通年実行		
水使用量の削減	水を流したままにしない			通年実行		増田
	水道メーター・水回りの水漏れ確認			随時導入		
一般廃棄物排出量の削減	電子機械の利用によるペーパーレス化					泉
	裏紙利用、両面印刷の推進					
	リサイクル可能な紙類の収集			通年実行		
設計における環境配慮	シュレッダーの活用・雑がみの分別による一般廃棄物の低減					山末
	設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習に積極的に参加する			通年実行		
地域活動への参加	月に1回、全社員で社屋の周辺清掃を行う			通年実行		戸川

日常的に行っている活動

消火設備点検	消火器の使用方法・耐用年数の確認	佐伯
	熱感知器の確認	(株)セコム
フロン定期点検	空調・冷蔵庫等の点検	荒木
灯油の購入	適正な量を購入する・運用管理する	浅野
社員への周知徹底・意識改革	半期ごとにごみの排出量と車両燃費を掲示	EA21事務局
	一年分の活動実績を掲示	
	環境活動を促すポスター等を掲示	

5. 実施体制表と役割分担表

実施体制表



役割分担表

担当		役割・責任・権限・使命
代表者	児島	全体の統括／環境方針の設定 全体の課題とチャンスの見直し・社員に周知させる
	山末	全体の把握／環境経営システムの構築と運用 その状況を代表者に報告する／是正処置の指示
EA21委員会	戸川	年に2回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する
	鹿江	社屋周辺美化活動管理者
	佐伯	購入電力管理者
	荒木	消火器点検者
	増田	フロン定期点検管理者
EA21事務局		各種書類の作成・管理 社員への周知徹底・意識改革
	浅野	灯油運用管理者
	泉	一般廃棄物管理者
	岩熊	ガソリン使用量管理者

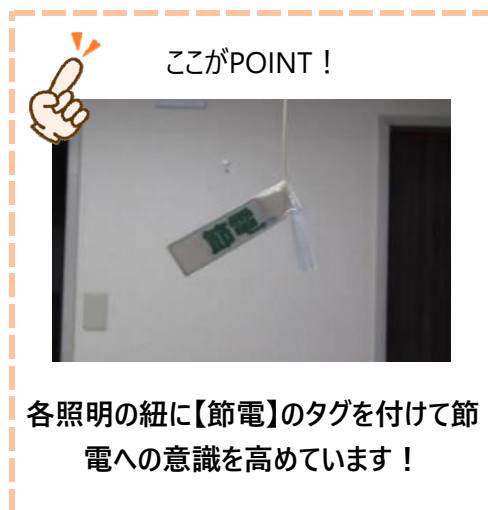
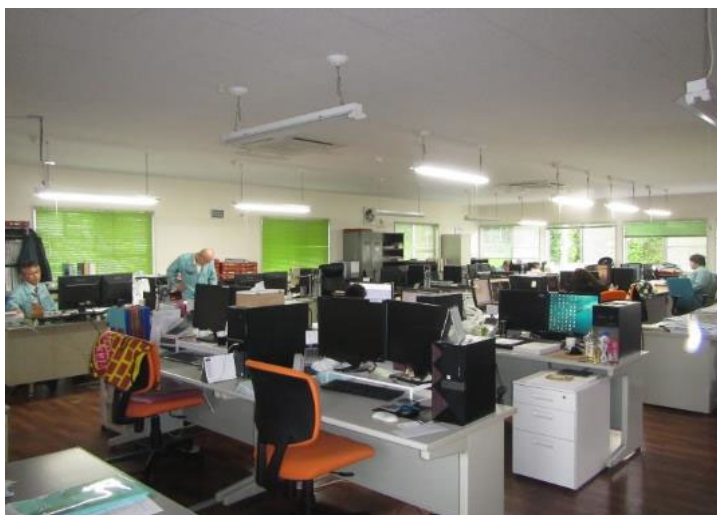
6. 環境活動状況

6-1. 社内の環境活動状況

プルスイッチ型LED照明

社内で最も電力が必要とされる設計部の照明は、外出時等で不要な照明はこまめに消灯できるように配置しています。

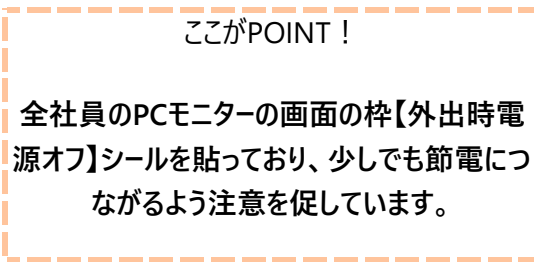
また、LED照明を採用しており、長寿命化にも配慮しています。



パソコンの電源



設計業務ではパソコンが必要不可欠であり業務の殆どがパソコン作業になります。そのため外出時や長時間パソコンを使用しないときは、こまめに電源を切るようにしています。



エアコンとサーキュレーター・扇風機

環境省が推進している空調使用時の室内温度【夏期28°C、冬期20°C】を遵守するようにしています。

また、サーキュレーターや扇風機を使い冷暖房の効率を上げています。

冷暖房に頼り過ぎないクールビズやウォームビズも実施しています。



空気清浄機・加湿器



新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、空気清浄機を導入しています。新型コロナウイルスのみならず、インフルエンザウイルス、また花粉やハウスダストも吸い取り、幾つものフィルターを通してきれいな空気に変えてくれます。



また、冬期は暖房効率を上げるため、加湿器を使用しています。室温が同じ20°Cでも、湿度20%よりも湿度50%の部屋のほうが体感温度が上がると言われているので、温湿度計も社内に数箇所設置して、日々気を配るようにしています。

エコドライブ

社用車全てに右のようなシールを張っており、エコドライブを心がけるように注意を促しています。

環境省によると緩やかな発進を意識する事で、約10%程度燃費が改善されるそうです。また、車内の温度設定を外気と同じ25度に設定したままだと12%程度燃費が悪化するようです。

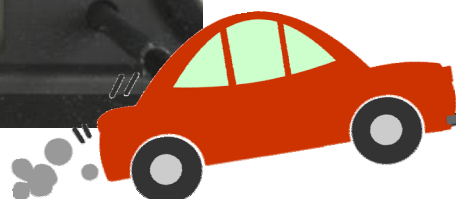
社員への教育や正確な燃費管理、定期的な点検なども行い、全員が安全でエコな運転ができるように活動しています。

参考：環境省「エコドライブ10のすすめ」



ここがPOINT！

社員へのエコドライブの呼びかけのため、社員の通用口である玄関に環境省の「エコドライブ10のすすめ」のポスターを掲示しています！



シュレッダーの導入



一階と二階に一台ずつ設置しており、主に個人情報保護を目的として使用しています。

シュレッダーで細断した紙くずも古紙として回収しているので、裏紙として使えない、半端なサイズのメモ用紙や作業中に出た紙の切れ端などもシュレッダーを使用して細断し、ごみの排出量の削減・リサイクルにつなげています。



ここがPOINT！

設計業務上では個人情報や機密事項を取り扱うことが多いです。外部にもれないようにしっかりと分別することを心がけるよう、全社員に呼びかけています。



コピー機



使用済みの紙を集め、裏面印刷に用いています。ただし裏面が白紙であっても、穴が開いていたり、ステーブルで綴ってあるものは複合機の都合で使用出来ません。なので、メモ用紙にしたり、シュレッダーで細断して古紙で回収するなど、ごみ排出量の削減・リサイクルに努めています。

集めた裏紙は裏紙専用のトレイに入れ、試し印刷などで使用しています。

また、両面印刷・両面コピーを推奨しており、資源の無駄遣いを無くすように呼びかけています。



グリーンカーテン

グリーンカーテンの効果として挙げられるのは、その周辺の景観的美化や夏場の日差し・室内の気温を和らげることです。

また、エアコンの冷房を同じ温度に設定しても、温度が高い部屋はその分だけ負荷がかかるため、電力を多く消費します。なので、グリーンカーテンはエアコンの消費電力をおさえるという省エネ効果もあります。



スナップエンドウ、ミニトマト、ゴーヤを育てています

会社周辺の側溝清掃



会社周辺の側溝等の清掃を月に一度行っています。

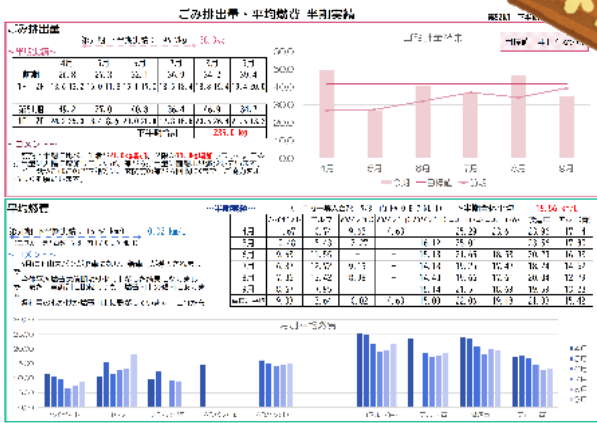
側溝に溜まったヘドロや腐った落ち葉などを取り除くことにより、それらから発生する悪臭を防ぎます。また、台風や豪雨などの際、側溝に溜まった土などで道路が冠水してしまわないように定期的に清掃を行っています。



社内掲示：休憩室

半期毎のごみ排出量と各車両別の燃費を表とグラフにまとめ掲示しました。

全員の目に入るよう、社員が休憩する場に掲示しています。



ここがPOINT！

コメント欄には半期分の実績に対する評価を記載しており、下半期・来期に向けて今後どのような活動が必要であるのかを明記しています。

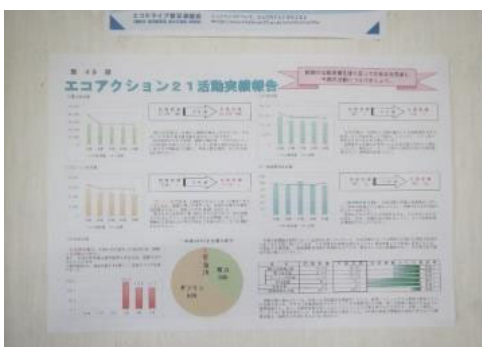


環境活動に対する社員全員のモチベーションを上げるため、10年継続の表彰状を休憩室に掲示しています。

社内掲示：玄関

雑がみ回収を促進するポスターを掲示し、回収BOXを設置しています。

シュレッダーで処理しづらいメモ紙やたばこの空き箱・トイレトペーパーの芯などを中心に社内のあらゆる紙ごみを集めており、ごみ排出量の低減に大きく貢献しています。



一年間の活動とその結果を振り返り、次期の活動に生かせるように呼びかけています。

6. 環境活動状況

6-2. 地域の環境活動状況

外部からの苦情 _____ 今期の活動における外部からの環境に関する苦情等はありませんでした。

会社の取り組み _____ 月に1回、社員全員で社屋の周辺清掃を行っています。

北九州SDGsクラブ

の会員です！

北九州SDGsクラブとは

まず、SDGsとは2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

会社での取り組み

◎会社内のSDGs認知向上

まだ本クラブの会員歴が浅いこともあり、社員一同SDGsの事についてまだあまり詳しくありません。そこでまずは、社内でのSDGsの認知を高めて行きたいと思います。

◎SDGsに繋がる事はなにか

クラブHPにも大切な取り組みとして「いま行っている活動がSDGsに繋がるか考える」と記載されています。そこで、私達が今行っているエコアクションもSDGsに大きく繋がるのではないのでしょうか。これからもエコアクションに力を入れるとともに、他にも繋がる活動が無いか考えていきたいと思っています。

～会員缶バッジ～



打合せ時などに着用しています。



7. 環境関連法規などの遵守状況

遵守状況の確認

適用される主な環境関連法規等の一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘もありません。

基本法令	適用対象	適用項	規制内容抜粋	具体例	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系一般廃棄物	6条の2	許可を受けた一般廃棄物収集運搬業者及び一般廃棄物処分業者に委託しなければならない	北九州市の登録を受けている事業所に委託する	適合
		4条の4 〔施行令〕	一般廃棄物の運搬または処分、再生を業として行うことができる者、且つ、それらが事業の範囲に含まれるものに委託すること		※1 (株)環境技術センターに委託している
再商品化法	特定家庭用機器廃棄物	6条	事業者は、特定家庭用機器をなるべく長期間使用することにより排出を抑制するよう努める 排出する場合は、収集運搬または再商品化等をする者に適切に引き渡し、その求めに応じ料金の支払に応じること	エアコン、TV、冷蔵庫、洗濯機等 新しく購入した店舗に引き取ってもらう等	適合 エアコンを1台買替えリサイクルした
使用済自動車の再資源化等に関する法律	使用済自動車	8条	自動車の所有者は、当該自動車を使用済自動車となったときは引取業者に当該使用済自動車を引き渡さなければならない	都道府県知事又は保健所設置市市長の登録を受けている事業所に委託する	適合 期間中社用車2台を適切な業者に引き渡した
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	空調・冷蔵庫	5条	当該特定製品に使用されるフロン類の管理の適正化に努めるとともに、国及び地方公共団体が特定製品に使用されるフロン類の管理の適正化のために講ずる施策に協力しなければならない	第一種特定製品の定期点検を実施し、点検記録を作成、保存を行う	適合
		45条	当該引渡しを終了したことを当該引取証明書により確認し、かつ、当該引取証明書を受領した日から主務省令で定める期間保存しなければならない。		取引があった場合は引取証明書の写しを3年間保存する
消防法	建物	3の3 17条の3	防火対象物の関係者は、その防火対象物に設置されている消火器具について、定期的に点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければならない。	消火器・火災報知器等の確認、定期的に点検報告書を提出	適合 点検を行った
北九州市環境基本条例	事業者	5条	事業活動に伴う環境への負荷をできる限り低減するために必要な措置をしなければならない	外出中はパソコンの電源を切る等	適合
			事業活動に係る物の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努めるとともに、再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料、役務等を利用するように努めなければならない	金物や古紙等を回収業者に引き取ってもらう	随時、事業活動で取り組んでいる
			市が実施する環境の保全に関する施策に協力する責務を有する	市が主催の環境に関するイベント	

※1 (株)環境技術センター 事業一般廃棄物収集運搬許可 北九州市許可番号：第164号

8. 環境活動の実績(環境経営目標の達成状況)

第53期の実績は以下の通りです。

<削減目標>

活動期間： 2021年10月 ～ 2022年9月

項目	単位	基準年度	当年度		目標達成状況		
		45期	目標値 (△8%)	実績	達成率	判定	
二酸化炭素排出量 (全二酸化炭素排出量)	kg-CO2	46,311	42,606	※1 39,515 (40,129)	108%	○	
	電力使用量	kwh	27,437	25,242	71%	✗	
		kwh/日	102.40	99.4			139.7
	ガソリン使用量	L	14,285	13,142	9,692	136%	○
	平均燃費	km/L	16.7	※2 —			
灯油購入量	L	—	※3 —	246	—	—	
水使用量	m3	188	※4 —	134	142%	○	
	m3/人	8.1	7.4	5.2			
一般廃棄物排出量	kg	473.8	※4 —	576.3	85%	△	
	kg/人	20.6	18.9	22.2			

<プラス目標>

※端数処理は四捨五入とする

設計における環境配慮	研修・講習に参加した件数	1 件	実施
地域の環境活動	月に1回、社屋の周辺清掃を行った		実施

- ※ 電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の令和3年度 調整後排出係数0.480kg-CO2/kWhを用いた。
- ※ 電力使用量の日割り計算は、平均的な稼働日数を使用している。
- ※ 業務において化学物質を使用することはない。
- ※1 ()内数値は運用管理している灯油を含む、全二酸化炭素排出量である。
- ※2 平均燃費に関しては、目標を立てず前期の実績値と比較して向上を図ることとする。
- ※3 灯油に関しては、運用管理しているため、目標は立てないこととする。
- ※4 水使用量と一般廃棄物排出量について、人員の増減による実績値の振りが多いため一人あたりの使用量を削減目標とする

【目標達成状況での判定】

- 100%～ → 目標を達成している。
- △ 99%～80% → 目標の達成には及ばないが、経過観察の必要あり。
- ✗ 80%未満 → 目標を達成できていない。是正処置が必要である。

9. 環境活動の取組結果・評価

今期の環境活動の取組状況の確認・評価と次年度の取組内容について会議を行いました。

1) 評価者名	代表者	児島 克典
2) 出席者	環境管理責任者	山末
	EA21委員会	営業総務部 戸川 設計部 佐伯/荒木/増田/鹿江
	EA21事務局	設計部 浅野/泉/岩熊
3) 提出した資料	・「環境への負荷の自己チェック」の結果 ・文書類	

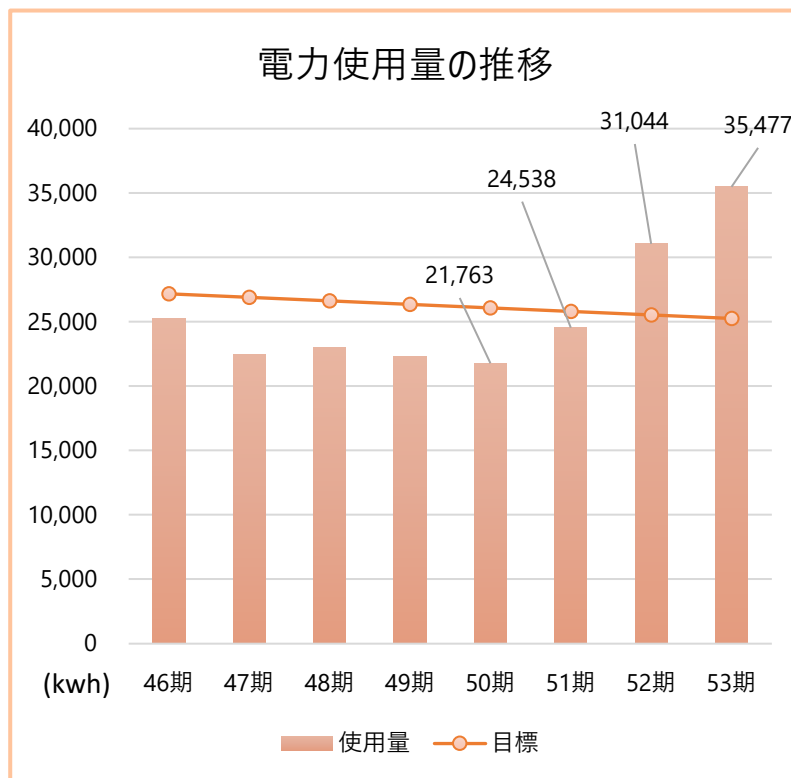
4) 各項目毎の評価と見直し, それを踏まえた次年度の取組内容

※目標の達成率は「環境活動の実績」を参照

電力使用量

《評価と見直し》

- ・ 前年度から**4,433kwh**増加した
- ・ 前回同様、増加傾向にある
- ・ 電力使用量で多くを占めるのは**エアコン**であった
 - 1,2月の暖房、8月の冷房が最も多く使用されていた(最小値の5月と比べ**2.3倍**)
 - 8月に**業務用エアコン(1台)を追加導入**した
- ・ 従業員が増え(過去最大人数)PC等の電子機器を追加導入した
 - **電子機器の稼働率が大幅に増加**した



《次年度の取組内容》

- ・ 前回同様、感染対策のためエアコンと同時に換気扇も稼働しているため、電力使用量が増加した
- ・ 人員が増え環境整備のためPC等の電子機器、また業務用エアコンの追加導入などにより従来最多の使用量となった

以上を踏まえ今後の電力使用量を従来のもので考えるのは厳しいと判断した

是正処置として基準年度を今年度の数値にし、次年度より-1%の削減を目標に活動していくこととした

それに加え、感染対策で行っていた換気扇の常時稼働を就業時のみに変更し、エアコンとの併用による電気使用量の削減をはかる。

ガソリン使用量

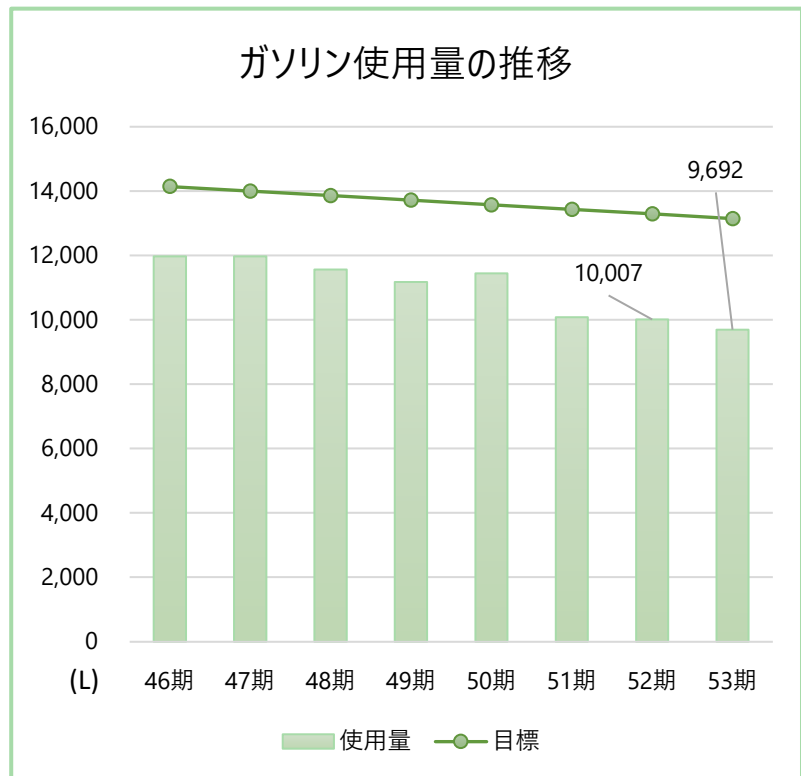
《評価と見直し》

- ・ 前年度から315L削減した
- ・ 前回同様順調に削減できており、**過去最小**のガソリン使用量となった

《次年度の取組内容》

社用車の入れ替えが有りながら、順調に目標を大きく下回りながら削減できていることから、今後とも以下の活動を継続して行うこととする

- ・ 定期的なオイル交換・空気圧点検等の安全点検
- ・ 平均燃費向上を目指してエコドライブの周知徹底



水使用量

人員の増減による実績値の振り幅が多いため今年度より一人あたりの数値を削減目標とする

《評価と見直し》

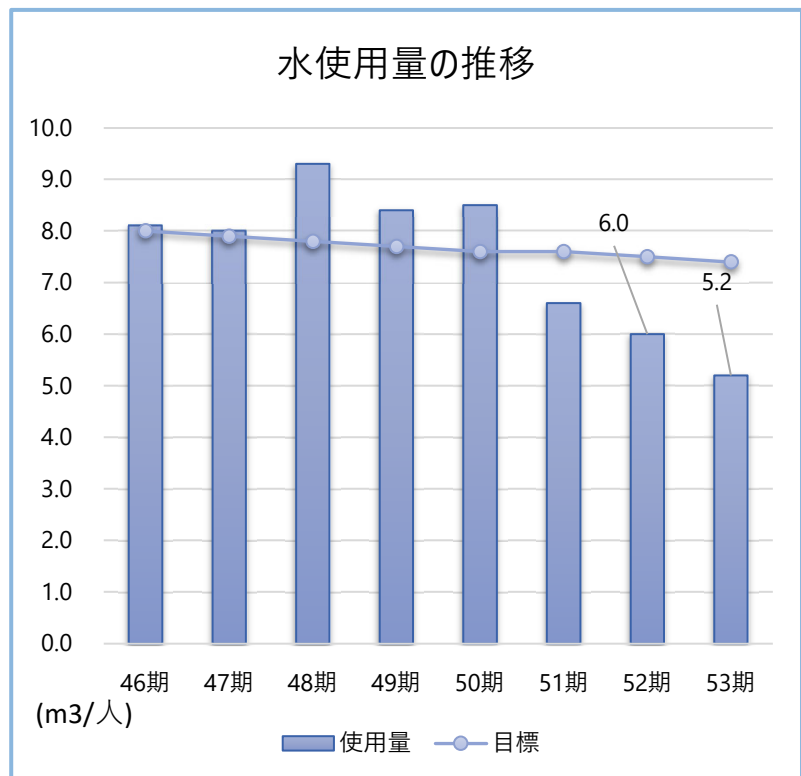
- ・ 前年度から0.8m³/人削減した
- ・ 前回同様順調に削減できており、**過去最小**の水使用量となった

《次年度の取組内容》

数年前に全ての便器が節水型になったことにより目標を大きく下回りながら削減できるようになった

今後とも以下の活動を継続して行うこととする

- ・ 水道メーター・水回りの確認を行い、水漏れなどを未然に防げるように注意する
- ・ 節水の周知徹底を実施し、全社員の節水意識向上を図る



一般廃棄物排出量

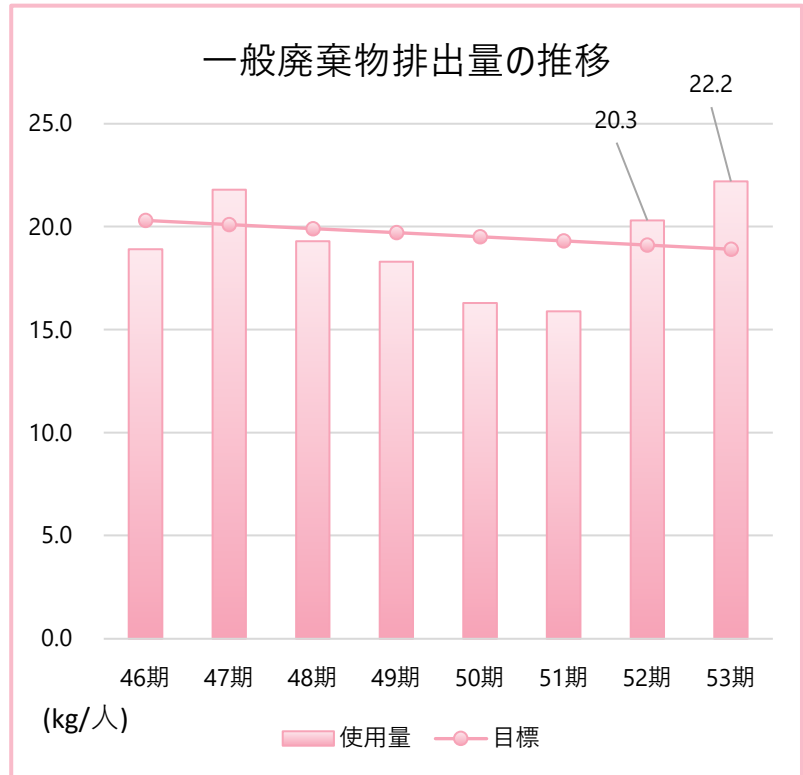
人員の増減による実績値の振り幅が多いため今年度より一人あたりの数値を削減目標とする

《評価と見直し》

- ・ 前年度から**1.9kg/人増加**した
- ・ 前回同様、増加傾向にある
- ・ **手洗い場の紙ゴミやお弁当殻が多い**ように見えた
- ・ 従業員が増え(過去最大人数)**消耗品の使用増加**も一因と考えられる

《次年度の取組内容》

削減活動としては**リサイクルできるものの分別**が挙げられるため、社員一人一人の意識向上に努めたい



その他の活動

- ・ 月に一度の社屋の周辺清掃やフロン定期点検を行った。
- ・ 前半期の記録等を表とグラフにまとめた紙面を掲示するなどの周知徹底・意識改革を目的とした教育訓練も行った。
- ・ 設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修・講習に積極的に参加した。



社屋の周辺清掃



玄関前掲示(ポスター等)

5) まとめ

《評価と見直し》

1) 環境経営計画を実行できたか

- ・ 一部の照明をLEDに切り替えた
- ・ 社用車のオイル交換、タイヤの空気圧チェックを徹底して行った
- ・ 電子機械の利用によるペーパーレス化を促進した

その他の環境経営計画を実行できた

2) 実績値について

- ・ ガソリン・水使用量については順調に削減できている
- ・ 電力使用量は、設備投資による電子機器の稼働率増加が主な原因となり過去最多を記録した
- ・ 今期は例年に比べ寒冬であったため、灯油の使用量が多かった
- ・ 電力、ガソリン、灯油による二酸化炭素排出量は前年度に比べ多少増加はしているが、活動当初と比べると順調に削減できているように思う
- ・ 一般廃棄物排出量については、消耗品の使用量や紙ゴミが増えた為、排出量が過去最多を記録した
- ・ 前回同様、コロナ感染拡大防止により参加できなかった研修・講習が多かった
- ・ フロン点検、会社周辺の清掃は定期的に行った

《次年度の取組内容》

- ・ 水使用量について、これ以上の削減は厳しいのではないかと判断したため、現在続けている周知徹底等の活動を継続しつつ、次年度からは今年度を基準に現状維持を目標とする
- ・ 電力使用量について、今年度の設備投資により今後の電力使用量を従来のものさしで考えるのは厳しいと判断したため、是正処置として基準年度を今年度の数値にし、次年度より-1%の削減を目標に活動していくこととした
- ・ 灯油については、購入する年、しない年、また購入量にもばらつきがあり目標を定めることが難しいため、次年度からも購入量等の運用管理を継続していくこととする
- ・ 一般廃棄物排出量について、捨てるゴミの内容やリサイクルできるものとの分別など個人の意識が重要となってくるため、掲示物や注意喚起で周知徹底を継続して行う
- ・ 今後も研修・講習に積極的に参加していきたい

以上の取組内容を踏まえ次頁に来期の環境経営目標及び環境経営計画を添付する。

10. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

10-1. 次年度及び中長期環境経営目標

<削減目標> 基準年度より-1%/年を目標とし削減に努める

環境目標	単位	基準年度	当年度	中 期		
		53 期 2021/10～ 2022/9	54期 2022/10～ 2023/9	55 期 2023/10～ 2024/9	56 期 2024/10～ 2025/9	57 期 2025/10～ 2026/9
削減目標			(△9%)	(△10%)	(△11%)	(△12%)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	39,514	35,958	35,563	35,167	34,772
電力使用量	kwh	35,477	32,284	31,929	31,575	31,220
ガソリン使用量	L	9,692	8,820	8,723	8,626	8,529
灯油購入量 (運用管理)	L	—	※1 —	—	—	—
水使用量	m3/人	5.2	※2 5.2	5.2	5.2	5.2
一般廃棄物排出量	kg/人	22.2	※3 20.2	19.9	19.7	19.5

<プラス目標>

設計における 環境配慮	—	環境効果の高い資材や工法の情報収集のための研修・講習に積極的に参加する。
会社周辺の清掃	1回/月	月に1回、社屋の周辺清掃を行う。

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の令和3年度 調整後排出係数0.480kg-CO2/kWhを用いた。

※ 業務において化学物質を使用することはない。

※1 灯油使用量に関しては、運用管理しているため、目標はたてないこととする。

※2 水使用量については、53期以上の削減は難しいと判断したため現状維持を目標とする。

※3 一般廃棄物排出量については、人員の増減による実績値の振り幅が多いため一人あたりの削減目標とする。

10. 次年度の環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画

10-2. 次年度の環境経営計画

第54期

環境経営計画

定期的な評価(上半期/全期間)

取組目標	活動内容	活動計画				担当
		10~12	1~3	4~6	7~9	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量		エアコン使用時 常時実行			鹿江
	エアコン設定温度					
	扇風機・サーキュレーターの活用による冷暖房の効率化					
	LED照明への随時取り替え		随時導入			
	不要な照明の消灯					
ガソリン使用量の削減	不要電力消費抑制 (未使用時のプリンター,外出時のPC)		通年実行			岩熊
	クールビズ・ウォームビズの励行					
	エコドライブの励行 ・アイドリングストップ ・急発進、急停車の防止等 ・ルート・配車計画の合理化 ・タイヤの空気圧チェック		通年実行			
	エコカーへの随時入れ替え		随時導入			
	定期的な安全点検		通年実行			
水使用量の削減	水を流したままにしない 水道メーター・水回りの水漏れ確認		通年実行 随時導入			増田
一般廃棄物排出量の削減	電子機械の利用によるペーパーレス化 裏紙利用、両面印刷の推進 リサイクル可能な紙類の収集 シュレッダーの活用・雑がみの分別による一般廃棄物の低減		通年実行			泉
設計における環境配慮	設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習に積極的に参加する		通年実行			山末
会社周辺の清掃	月に1回、全社員で清掃を行う		通年実行			戸川
地域活動への参加	外部からの依頼や要望、市が実施する環境保全に関する施策に協力・参加する		通年実行			浅野

日常的に行っている活動

消火設備点検	消火器の使用方法・耐用年数の確認 熱感知器の確認	佐伯 (株)セコム
フロン定期点検	空調・冷蔵庫等の点検	荒木
灯油の購入	適正な量を購入する・運用管理する	浅野
社員への周知徹底・意識改革	半期ごとにごみの排出量と車両燃費を掲示 一年分の活動実績を掲示 環境活動を促すポスター等を掲示	EA21 事務局

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

○：できている
△：よりよい改善を望める
×：改善が必要

環境経営システムが有効に機能しているか 総評： ○

1	PDCAサイクルはうまく回っているか	評価： ○
2	実施体制がきちんと機能しているか	評価： ○
3	目標の立て方は適切か	評価： ○
4	環境上の緊急事態への準備及び対応ができているか	評価： ○
5	取り組みの結果を適当に評価し、次に繋げているか	評価： ○
6	全員で取り組んでいるか	評価： ○

環境への取り組みは適切に実施されているか 総評： ○

1	環境経営方針で誓約したことが実行されているか	評価： ○
2	教育・周知徹底は適切に実施されているか	評価： ○
3	環境経営目標は適切か、環境経営計画は適切に実施されたか	評価： ○
4	取組の評価結果が次の行動に反映されているか	評価： ○
5	是正処置は適切に実施されたか	評価： ○
6	前回の指示事項は実行されたか	評価： ○
7	全員の協力が得られているか	評価： ○

見直しと指示事項	今期は社員増加に伴い、電力使用量（PC等の電子機器、業務用エアコンの追加導入）
	と一般廃棄物排出量が増加した。来期は、社員数に応じた指標の見直しが必要と考える
	ため、是正処置を指示した。一方、ガソリン使用量と水使用量は、目標値を大きく上回る
	ことができ高く評価したい。

総論	今期は事業拡大に伴い、社員の増員及び設備投資を行ったため、目標達成率が一概に
	評価できない状況であった。来期は、指標の見直しを行い、さらなる環境活動の発展を推進
	する。また、社員の環境に対する意識は確実に向上しており、方針・目標・計画・実施体制
	（環境経営システム）が有効に機能しているものと評価するため、見直しは必要ない。

2022年 12月 5日

株式会社 吾水総合コンサルタント

代表取締役

児島克典



株式会社 吾水総合コンサルタント

代表取締役社長 児島 克典
環境管理責任者 山末 隆夫

〒806-0065

福岡県北九州市八幡西区養福寺町7番9号

TEL : 093-621-3366

FAX : 093-621-5110

URL : <https://gosui-consul.net/>